



W杯第3戦、女子500mで自身の日本記録を更新する36秒53で優勝した小平奈緒=3日、カナダ・カルガリー(EPA=時事)

小平500V 13連勝

スピードスケートW杯

高木美圧勝3冠



W杯第3戦、女子1500mで転倒する高木美帆=3日、カナダ・カルガリー(EPA=時事)

アクシデントはねのけ

アクシデントに見舞われても、小平の強さは変わらなかつた。前日の1000mで転倒した際に、右側頭部からフランクに衝突。首を痛め「状態はベストではなかった」と言う中、出場に踏み切って快勝した。

最初の100mは全体トップの10秒19で通過。二つのカーブで外に膨らんだものの、最後の直線で世界新記録の季相花(韓国)を引き離した。36秒53。自身の持つ日本記録に加え、リンクコードも塗り替えた。前日のレースは転倒するまで

滑りに手応えを感じていた。「転も、転も、転も」というが、転んでいなかつたらどんなタイミングが出たのかなど思つとすこく悔しかつた。そんな感情を抑え、転倒したカーブも姿勢を低く保つて抜ける。1白で修正を加え、結果につなげた。

高木は、W杯第3戦、女子1500mで3位に入った郷里里砂(カナダ・カルガリー)=3日、カナダ・カルガリー(EPA=時事)



W杯第3戦、女子500mで3位に入った郷里里砂=3日、カナダ・カルガリー(EPA=時事)

△:女子マスクスタートで早々と集団を飛び出す選手がいても、高木菜は佐藤ともに後方集団に残った。作戦通りに終盤の勝負に懸け、3位でゴール。先頭には届かなかつたが、ラストスプリントの滑りには手応えを感じたという。

先行選手を追う選手たちも3位でゴール。先頭には届かなかつたが、ラストスプリントで勝ちに回った。それでも「マスクスタートのトレーニングは(五輪までに)あと2回しかできない。ここはメダルを取れなかつたとしても、ラストスプリントで勝ちに回る作戦を大切にしようと思つた」。照準はあくまで

△:女子マスクスタートで早々と集団を飛び出す選手がいても、高木菜は佐藤ともに後方集団に残つた。作戦通りに終盤の勝負に懸け、3位でゴール。先頭には届かなかつたが、ラストスプリントの滑りには手応えを感じたという。

先行選手を追う選手たちも3位でゴール。先頭には届かなかつたが、ラストスプリントで勝ちに回つた。それでも「マスクスタートのトレーニングは(五輪までに)あと2回しかできない。ここはメダルを取れなかつたとしても、ラストスプリントで勝ちに回る作戦を大切にしようと思つた」。照準はあくまで

△:ゴールを通り抜けた高木美は、電光掲示板の数字を見ると両手を突き上げて喜んだ。日本新記録の1分51秒79。「やつたと思った」。W杯の1500mは3戦3勝となり、平昌五輪の2位だった。W杯第3戦、女子1500mで3位に入った郷里里砂(カナダ・カルガリー)=3日、カナダ・カルガリー(EPA=時事)

△:ゴールを通り抜けた高木美は、電光掲示板の数字を見ると両手を突き上げて喜んだ。日本新記録の1分51秒79。「やつたと思った」。W杯の1500mは3戦3勝となり、平昌五輪の2位だった。W杯第3戦、女子1500mで3位に入った郷里里砂(カナダ・カルガリー)=3日、カナダ・カルガリー(EPA=時事)

世界新まであと1秒 高木美

△:ゴールを通り抜けた高木美は、電光掲示板の数字を見ると両手を突き上げて喜んだ。日本新記録の1分51秒79。「やつたと思った」。W杯の1500mは3戦3勝となり、平昌五輪の2位だった。W杯第3戦、女子1500mで3位に入った郷里里砂(カナダ・カルガリー)=3日、カナダ・カルガリー(EPA=時事)

△:ゴールを通り抜けた高木美は、電光掲示板の数字を見ると両手を突き上げて喜んだ。日本新記録の1分51秒79。「やつたと思った」。W杯の1500mは3戦3勝となり、平昌五輪の2位だった。W杯第3戦、女子1500mで3位に入った郷里里砂(カナダ・カルガリー)=3日、カナダ・カルガリー(EPA=時事)

△:カルガリー(カナダ)スピードスケートのワールドカップ(W杯)第3戦、カルガリー大会最終日は3日、カナダのカルガリーで行われ、女子1500mは高木美帆(日体大助手)→日体大、帯南商高(日体大)が1分51秒79の日本新記録でW杯今季3連勝、通算6勝目を挙げた。押切美沙紀(富士急駒大)が2位、太田小牧(中札内中出)が3位、中村内中出の従来の日本記録1分54秒10を大幅に更新した。高木美帆は3000m以降、团体追い抜きと合わせて今大会3冠。1500mで日本連盟が定めた平昌五輪の選考基準を満たし、代表選出が確定となつた。

女子500mは小平奈緒(相澤病院)が自身の日本記録を0秒22更新する36秒

勝ち、1000mと合わせて16勝目。小平は前の1000mに続き、500mも日本代表を確実なものとした。郷里里砂(イヨテツ)は

勝ち、W杯2度目の表彰台に

勝ち、W杯2度目の表彰台に

勝ち、W杯2度目の表彰台に

勝ち、W杯2度目の表彰台に

郷里里砂 3位 高木菜 マスク 3位

△:カルガリー(カナダ)スピードスケートのワールドカップ(W杯)第3戦、カルガリー大会最終日は3日、カナダのカルガリーで行われ、女子1500mは高木美帆(日体大助手)→日体大、帯南商高(日体大)が1分51秒79の日本新記録でW杯今季3連勝、通算6勝目を挙げた。押切美沙紀(富士急駒大)が2位、太田小牧(中札内中出)が3位、中村内中出の従来の日本記録1分54秒10を大幅に更新した。高木美帆は3000m以降、团体追い抜きと合わせて今大会3冠。1500mで日本連盟が定めた平昌五輪の選考基準を満たし、代表選出が確定となつた。

△:カルガリー(カナダ)スピードスケートのワールドカップ(W杯)第3戦、カルガリー大会最終日は3日、カナダのカルガリーで行われ、女子1500mは高木美帆(日体大助手)→日体大、帯南商高(日体大)が1分51秒79の日本新記録でW杯今季3連勝、通算6勝目を挙げた。押切美沙紀(富士急駒大)が2位、太田小牧(中札内中出)が3位、中村内中出の従来の日本記録1分54秒10を大幅に更新した。高木美帆は3000m以降、团体追い抜きと合わせて今大会3冠。1500mで日本連盟が定めた平昌五輪の選考基準を満たし、代表選出が確定となつた。